# 佐世保商業高校から日本一誕生

長崎県立佐世保商業高等学校
校長　中園順喜

昨年の将冠で、本校のモットーを「あいさつ、掃除、思い遣りで、目指せ日本一！」としたという報告をいたしました。生徒たちには、自分がなりたい日本一の姿（夢）を一つと、そのために努力する目標を二つ掲げるようにと話し、それを紙に書いて私と担任に提出してもらいました。生徒の夢は「甲子園に出場する」「日本一の舞台女優になる」など、大きな夢もありましたし、「感謝する人になる」「あいさつ日本一」「自分に厳しい人になる」など、心の面で日本一になりたいという生徒もいました。また、「カフェオーナーになる」「たくさんの人を安心させる看護師になる」など、職業面での夢を書いた生徒もいました。「母みたいな母になる」という夢を読んだときは、いかに家庭の中で愛されて育てられてきたかがよく分かり、嬉しい気持ちになりました。

さて、生徒に日本一になりたいという意識を持たせると、どういうわけか本当になってしまうものなのです。家庭科の授業で作成したクロスステッチタペストリーを「第二十二回全国高校生クリエイティブコンテスト」に応募したところ、栄えある文部科学大臣賞をいただくことができました。願えば叶うとはこのことです。このコンテストは、全国の家庭科を学ぶ生徒なら誰もが応募できるコンテストです。二つの部門からなっており、第一部門が被服・編み物、第二部門がインテリア・遊具・玩具・服飾小物で、本校は第二部門に応募しました。応募総数は全部で四百七十六点もあったそうです。それぞれの部門で最優秀賞が与えられるのですが、本校は二部門あわせた頂点一作品に送られる文部科学大臣賞を受賞することができたのです。

この作品の素晴らしいところは二つあります。一つは、一人の生徒が作った作品ではなく、総合ビジネス科二年生